



南校だより

令和7年2月25日（火）

中津川市立南小学校

No.18

保護者による「学校評価」について①

校長 中村 行雄

昨年12月末に保護者の皆様に回答していただきました学校評価について、「南校だより」およびホームページで公表させていただきますとともに、その公表によりご意見等に対する回答とさせていただきます。

なお、いただきましたご意見については、南小の児童や地域の皆さんも含め、多くの方の目にふれるものですので、掲載にふさわしくないものについては、一部削除もしくは表現を変更して掲載させていただきますのでご承知おきください。

■全体として

- ・全体としては、昨年度と同様に「A（大変よかった）」が減少し、「B（よかった）」が増加し、「A」と「B」を合わせた評価はほぼ変化はありません。
- ・「C（あまりよくなかった）」、「D（よくなかった）」という評価については、多くは特定の方によるものでした。
- ・記述のない項目が多いために、具体的な回答ができないことをご理解ください。
- ・回答数は234軒中176軒で、回答率は75%でした。
- ・1軒あたりの評価が「0.56%」となります。

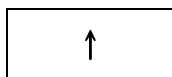
評価について

A：大変よかった B：よかった C：あまりよくなかった D：よくなかった

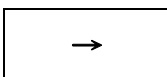
昨年度の評価との比較



向上



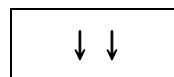
やや向上



ほぼ同じ

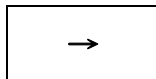


やや低下



低下

- 1 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、基礎学力の定着に努力している。



A：24.4% B：74.4% C：1.1% D：0.0%

- ・記述なし

■学校の授業では、1時間の授業の終末に、「確かめ問題」や「今日のまとめ」などでその時間に学んだことを確認する時間を設けています。それにより、その時間に学んだことを理解できているかを確認し、不十分な場合は次の時間にもう一度確かめる時間を設けるなどして、学力の定着を図っています。

■本年度の全国学力学習状況調査の質問紙の回答状況から、南小学校の子どもたちは依然として平日や土日、休日の家庭学習の時間が全国や岐阜県の平均を下回っていることがわかりました。基礎学力の定着には勉強したことを繰り返し確かめることも重要であることから、来年度に向けて対応策を考えております。

2 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、思いやりやコミュニケーション能力の育成に努力している。

→

A : 28.4% B : 67.0% C : 4.5% D : 0.0%

・記述なし

■思いやりの心やコミュニケーション能力は、児童の生活全般で育てていくべきものであると考えています。学校生活においても、仲間との関りを大切にしながら、授業や日常の活動、行事への取組、児童会活動などに重点を置いていきます。

3 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、体力作りや健康増進に努力している。

→

A : 35.3% B : 61.3% C : 3.4% D : 0.0%

・記述なし

■体育の授業では、準備運動にACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）を取り入れ、児童が楽しく運動に取り組むようにしています。また、児童の体育委員会を中心にサーキットトレーニングや体力づくり週間にも取り組んできました。今後もさらに児童が運動に親しむことができるよう活動を工夫していきます。

4 学校は、確かな学力育成のため、2年生以上に教科担任制を先進的に導入しており、児童にとって効果的な指導となっている。

→

A : 38.1% B : 59.7% C : 2.3% D : 0.0%

・記述なし

■教員の専門性を生かした指導を通して児童が力を付ける授業、多くの教職員が関わり寄り添う生徒指導をめざしてきました。今後も教科担任制は継続し、そのよさがさらに生きるようにしていきます。

5 学校は、家庭学習の力を付けるため、学力アッププログラム、宿題などを活用し、効果的に指導している。

↓

A : 14.8% B : 70.5% C : 13.6% D : 1.1%

・ドリルは購入したので、2回くらいずつできるような宿題にさせていただけると助かります。

・自主的・自発的に家庭学習に取り組めるのが理想ですが、高学年において自学中心になってしまうと不安も感じます。自学をプラスαで考え、中学に向けた基礎学力等の宿題を出していただけるといいなと感じます。

■宿題については、保護者の中でも「もっと出してほしい」と「必要ない」と考え方が様々あるのが事実です。さらに、基礎学力の定着には、勉強したことを繰り返し確かめることも重要であると考えます。そのことから、家庭学習は大きな役割があると捉えています。学校としては、家庭における生活習慣を確立し、その上で学習する時間を自分でコントロールする力を付けることが大切であると考え、今後も宿題の在り方を検討していきたいと思ひます。

■「主体的に学習に向かう態度」は現在の学校教育で大切にされていることのひとつです。子どもたちが自分にはどのような学習が必要で、どのように学習を進めていくかを考え実践する力を付けていきたいと考えています。「自学」への取組もそのような力を付けるには大切であると捉え、今後の指導内容を工夫していきます。

6 学校は、読書習慣を育成するための指導を効果的に行っている。

↓

A : 23.3% B : 63.1% C : 12.5% D : 1.1%

- ・学力アッププログラムを「ノーメディア」とするのはどうでしょうか。スマートフォン、タブレット端末、PC、TVなどの利用時間を無くす事（難しい家庭は少なくする事）で、おのずと学習時間や読書時間をのばせる事が期待出来る上、就寝時間を早める事も期待出来ると思います。

■PTA家庭教育委員会主催の読み聞かせや児童の図書委員会主催のお昼の放送での本紹介、授業中での図書館利用、学校図書司書によるブックトークなど、読書習慣を身に付けるための取組をしています。しかし、全国学力学習状況調査の質問紙の結果からは、家庭で本や新聞を手にとって読む時間が全国や岐阜県と比べると少ないことがわかりました。その反面、平日にテレビゲームをする時間は多い傾向にあります。このことから、読書習慣を身に付けることだけではなく、テレビゲームや動画視聴の時間を自分でコントロールできる力を身に付けることが大切であると考えます。そのひとつとして「ノーメディア」に取り組むことは意味があると考えますので、学校でも検討していきます。

7 学校は、学級や学年、児童会や委員会、クラブや異学年グループなど、集団活動を通して適切な人間関係能力の育成を図っている。

↓

A : 38.1% B : 58.0% C : 4.0% D : 0.0%

- ・記述なし

■昨年度と比較して肯定的な評価は下がっておりますが、96.1%の方が評価していただいております。

8 学校は、児童のよさや頑張りを適切に評価し、児童の自己肯定感を高めるよう、適切に指導している。

→

A : 32.4% B : 60.2% C : 5.7% D : 1.7%

- ・持ち物など子どもを通してだけでなく、親がフォローできるように事前に通知が欲しいです。

■児童の自己有用感を高めるためには、児童自身が試行錯誤を繰り返しながら自分でやることも必要であると考えます。しかし、持ち物等の準備は低学年ほど保護者の支援も必要です。児童は連絡帳に次の日の予定や持ち物を記入しておりますので、連絡帳を確認して支援をしていただくようお願いいたします。学校としても大切な持ち物や緊急の連絡は「すぐーる」を通して保護者に直接お願いしたいと思います。

9 学校は、学校施設・設備の充実や保守を行い、児童にとって適切な教育環境を整え、管理している。

→

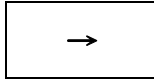
A : 26.1% B : 67% C : 5.7% D : 1.1%

- ・建物の構造と感染症拡大防止策について。教室の壁がなく筒抜けになっていることに対して、冬場のインフルエンザ等への対応はどうしているのかを聞いてみたいと思いました。

■感染症対策として、各教室のロスナイを稼働させております。コロナ禍において、ロスナイは換気が十分にされることが検証されております。加えて、児童の保健委員会を中

心にして、20分休みや昼休みに教室や廊下の窓を開け換気をする活動を行っております。

10 学校は、早寝・早起き・朝ご飯といった、基本的な生活習慣の育成について指導し、児童に定着させている。

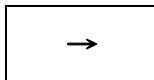


A : 27.7% B : 68.9% C : 3.4% D : 0.0%

・記述なし

■本年度の全国学力学習状況調査の質問紙の回答でも、児童は健康に過ごすために学校で学んだことを積極的に生活で役立てているという結果がわかりました。ご家庭での保護者の支援や見届けがありこのような結果になっていると思います。ありがとうございます。

11 学校は、命を守る訓練や登下校指導など、児童の命の安全を守るための努力をしている。



A : 44.3% B : 51.1% C : 4.0% D : 0.6%

・登校時に保護者がお子さんを送ってくる場合には、プール横の駐車場で児童を下ろす約束になっているはずですが、体育館横の道路で下ろしている車があります。あの道路は一方通行な上に交通量が多いことや歩いて登校してくる子供たちも多く、事故にもつながると思いますので徹底して下さい。

■児童は安全に登下校ができるように、「全校地域」という時間を定期的に設け指導に当たっています。児童がルールを守って安全な登下校に心がけても、地域の大人がルールを守らず児童の安全を確保できないことはおかしなことです。学校としても、車で児童を送迎する際の駐車場のルールを周知していきたいと思います。

■授業時間中に送迎をする場合は、校舎北側の職員玄関側の駐車場を利用し、職員室で声をかけてください。

12 学校は、心の健康調査やいじめアンケートなどを行い、教育相談を適切に行い、児童の実態把握とケアに努めている。



A : 30.7% B : 60.8% C : 7.4% D : 1.1%

・記述なし

■心の健康調査やいじめアンケートは、結果を確認後すぐに気になる児童には聞き取りの面談を実施し、問題があった場合は保護者に連絡をしています。これらのアンケート調査はいじめの発見のみならず、いじめ防止の啓発の効果も期待できます。